

NOR-SHIPPING 2015 国際海事展参加事業の実施経過について

平成 27 年 6 月 17 日
日本船舶輸出組合

本組合は、去る 6 月 2 日（火）から 5 日（金）までノルウェーのリレストローム市において開催された NOR-SHIPPING 2015 国際海事展に、（一社）日本造船工業会の協力のもと、（公財）日本財団の支援を得て参加した。

今回で 25 回目を迎えた同海事展には、48 ヶ国、992 社の出展があり、今回は同海事展創設 50 周年にあたるため、「50 YEARS LOOKING FORWARD」のキャッチフレーズを掲げ例年以上に盛況であった。

本組合の展示においては、統一展示方式を基本としつつ各社がそれぞれのコーナーで積極的な PR 活動を展開し、会場に参集した多数の欧米船主などに対しわが国造船業の技術の優秀性を紹介し、そのプレゼンスを高める上で一定の成果を挙げることができた。また、6 月 3 日夕刻には、欧米の海運関係者、政府関係者等を招待し、パーティを開催した。

その概要は、下記の通りであった。

記

1. 海事展への出展会社

- ・ 48 ヶ国から 992 社が出展した。

なお、そのうち日本（輪組/日船工）、英国、中国、デンマーク、オランダ、フィンランド、フランス、ドイツ、イタリア、韓国（KOSHIPA/KOMEA/KOTRA）、ノルウェー、ルーマニア、シンガポール、スペイン、スウェーデン、トルコ、米国など合計 20 のナショナル・ブースを形成した。

2. 入場者数

- ・ 15,400 人（展示会事務局発表）が入場した。

3. 開場式等

- ・ 6 月 2 日 8:30 より、日本スタンドにおいて各社首脳等参集のもと、國方俊男在ノルウェー日本国大使、佃和夫理事長及び中島基善日本船用工業会会長のテープカットにより日本スタンドの開場式が行われた。
- ・ また、同日 9:10 より、展示会場に隣接するホテル（Thon Hotel Arena）のコ

ンファレンスルームにおいて、NOR-SHIPPING 2015 Opening Conference が King Harald V、Erna Solberg ノルウェー首相臨席により開催された。同セレモニー中に行われた「NOR-SHIPPING 2015 AWARD」で、三菱重工業(株)が設計し、(株)大島造船所において建造され、空気潤滑システム(三菱 MALS)が搭載された 9 万 5 千重量トン型バルカー、「Harvest Frost」がエネルギー効率賞(Energy Efficiency Award)を受賞した。

4. 本組合の展示

- ・メインエントランスから最も近い位置 (Hall B) に 220 m²を確保し、隣接する(一社)日本船用工業会(220 m²)と共に日本スタンドを形成した。今回は、組合員企業 10 社が出展した。
- ・各社コーナーにおいては、46 インチ液晶モニターや写真パネルを活用し、各種船型の最新鋭模型を展示するなどにより、それぞれ自社の製品、技術、CI 等について PR を展開した。また、そのため参加各社から派遣された会場アテンダントが終日入場者に対し熱心に説明・紹介等を行った。
- ・スタンド内に 2 基の角型大型バナー(一面:4m×3m)を吊り参加会社のロゴ、英文社名を掲示し、各々のバナーの 1 面に 120 インチのスクリーンを配し、参加造船各社の広報用ビデオを放映し来場者へアピールした。

5. パーティ

- ・6 月 3 日 19:00 から、Radisson Blu Scandinavia Hotel において、國方大使ご夫妻及び佃理事長夫妻共催のもとでパーティを開催した。
- ・同パーティには、ノルウェーをはじめとする欧米各国の有力船主、ブローカー、金融、報道、ノルウェー政府関係者、在ノルウェー各国大使館関係者等が夫人同伴で来場し、國方大使ご夫妻、佃理事長夫妻及び伊藤専務理事がこれを迎えた。
- ・来場者は主客併せ 692 名に及び、わが国造船業関係者が欧米海運界関係者等と緊密な交流を図るとの所期の目的を達成することができた。

6. Sushi Luncheon

- ・6 月 4 日 11:00 から日本スタンド内において、Sushi Luncheon を開催した。冒頭、中島日本船用工業会会長の挨拶に続き、大坪新一郎国土交通省海事局船舶産業課長、ノルウェー船主協会ディレクターHanna Lee Behrenns の来賓挨拶後、佃理事長の乾杯発声によりパーティを開始し、盛会であった。

7. セミナー

- ・6 月 4 日 14:00 から Thon Hotel Arena において、Norway-Japan Maritime Green Innovation Seminar を、国土交通省、ノルウェー貿易産業漁業省、イノベーション

ヨンノルウェー及びノルウェー船級協会(DNV・GL)の協力を得て、本組合及び日本船用工業会が主催した。

- ・同セミナーは110名以上の出席者を得て開催され、佃理事長、國方大使、Dilek Ayhan ノルウェー貿易産業漁業省副大臣からの開会挨拶、Henrik O. Madsen DNV・GL 社長兼 CEO の基調講演に引き続き、日・諾11名のスピーカーが環境保全型技術、エコシップ、オフショア分野等について講演を行い、大坪船舶産業課長による閉会挨拶で締めくくられた。

以 上